



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 天馬株式会社
コード番号 7958 URL <http://www.tenmacorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤野 兼人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 堀 隆義

TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	19,101	△3.9	1,274	7.5	1,316	△18.7	1,087	△23.0
28年3月期第1四半期	19,882	12.7	1,185	93.8	1,620	83.2	1,412	△4.7

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,359百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 1,561百万円 (24.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	45.04	—
28年3月期第1四半期	56.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	84,482	70,184	83.1	2,908.51
28年3月期	87,443	72,029	82.4	2,984.99

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 70,184百万円 28年3月期 72,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,100	△7.3	1,700	△21.3	1,700	△42.0	1,400	△43.7	58.02
通期	77,200	△5.0	4,000	△12.1	4,500	△17.7	3,600	0.7	149.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	27,813,026 株	28年3月期	28,813,026 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	3,682,594 株	28年3月期	4,682,561 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	24,130,440 株	28年3月期1Q	24,877,085 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)におけるわが国経済は、財政・金融政策が景気を下支えたものの、円高や外需減退の影響で輸出が振るわず、設備投資と個人消費も力強さを欠く等、景気回復が足取りの重いものとなりました。

一方、世界経済は米国で着実に景気回復が続き、欧州でも緩やかな景気回復が見られましたが、中国をはじめとする新興国では景気が減速し、英国のEU離脱問題の発生もあって先行き不透明感が高まっております。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、ハウスウエア合成樹脂製品分野の売上高が、国内及び中国において新製品販売等により増加しましたが、工業品合成樹脂製品分野の売上高が、円高進行によって海外での売上高の円換算額が縮小したこと等により減少しました。

この結果、売上高は191億1百万円(前年同期比96.1%)となりました。

利益面につきましては、ハウスウエア合成樹脂製品分野の売上増と原価改善等により営業利益が12億74百万円(前年同期比107.5%)となり、経常利益は前年同期との比較では投資有価証券売却益が減少し、為替差損が増加したこと等により13億16百万円(前年同期比81.3%)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、10億87百万円(前年同期比77.0%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野は、新型収納ケース「プロフィックス カバコ」をはじめとする新製品の市場投入やプラスチック以外の素材製品の拡販で売上高が増加しましたが、工業品合成樹脂製品分野は、取引先の生産海外シフトに起因する電機電子等の受注減により売上高が減少しました。これにより全体の売上高は前年同期比減少しましたが、利益面は、ハウスウエアの売上増加と原価改善等が寄与して前年同期比ほぼ横ばいとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は、60億8百万円(前年同期比98.1%)となり、セグメント利益(営業利益)は7億45百万円(前年同期比99.6%)となりました。

(中国)

中国においては、天馬皇冠精密工業(蘇州)有限公司で取引先の生産海外シフト等により厳しい状況が続きましたが、上海天馬精塑有限公司で工業品に比べ収益性の高いハウスウエア合成樹脂製品分野の売上が伸長しました。

この結果、当セグメントの売上高は、66億73百万円(前年同期比97.7%)となり、セグメント利益(営業利益)は4億44百万円(前年同期比126.2%)となりました。

(東南アジア)

東南アジアにおいては、好調を続けていたベトナムのTENMA VIETNAM CO., LTD.の業績が伸び悩みましたが、タイのTENMA (THAILAND) CO., LTD.で、新設の第2工場の稼働率が向上して、収益性が改善し業績に貢献しました。

この結果、当セグメントの売上高は、64億21百万円(前年同期比92.7%)となり、セグメント利益(営業利益)は3億29百万円(前年同期比104.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて29億61百万円減少し、844億82百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が15億79百万円、原材料及び貯蔵品が4億72百万円、建物及び構築物(純額)が4億27百万円、投資有価証券が4億81百万円、それぞれ減少したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて11億15百万円減少し、142億98百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が6億7百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて18億46百万円減少し、701億84百万円となりました。これは、自己株式の消却等により利益剰余金が8億50百万円減少し、控除項目である自己株式が14億51百万円減少したこと、及びその他有価証券評価差額金が5億10百万円、為替換算調整勘定が19億40百万円、それぞれ減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第1四半期連結累計期間の業績は、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想を上回るペースで進捗しております。しかし、中国をはじめとする新興国の景気減速、英国のEU離脱問題、為替の円高進行等、当社を取り巻く経営環境は先行き不透明感が高まっておりますので、第2四半期(累計)及び通期の業績予想を変更せず、この達成に努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を、当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,141,629	32,187,457
受取手形及び売掛金	15,807,462	14,228,833
商品及び製品	2,291,890	2,436,185
仕掛品	493,328	481,260
原材料及び貯蔵品	3,334,117	2,862,114
繰延税金資産	220,244	229,771
その他	1,718,871	1,735,639
貸倒引当金	△5,635	△635
流動資産合計	56,001,907	54,160,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,415,051	8,987,649
機械装置及び運搬具(純額)	9,263,627	8,876,163
その他	3,389,433	3,479,690
有形固定資産合計	22,068,111	21,343,502
無形固定資産	3,182,265	3,066,873
投資その他の資産		
投資有価証券	5,116,609	4,635,588
退職給付に係る資産	665,838	667,687
繰延税金資産	5,042	4,790
その他	425,433	613,768
貸倒引当金	△22,288	△10,627
投資その他の資産合計	6,190,633	5,911,207
固定資産合計	31,441,008	30,321,582
資産合計	87,442,915	84,482,207
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,544,639	8,937,859
未払法人税等	574,694	380,111
賞与引当金	862,108	792,916
その他	3,219,641	3,004,810
流動負債合計	14,201,082	13,115,696
固定負債		
役員退職慰労引当金	216,388	221,926
退職給付に係る負債	247,516	249,286
資産除去債務	20,287	19,160
繰延税金負債	728,250	692,337
固定負債合計	1,212,441	1,182,709
負債合計	15,413,524	14,298,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,924,500	18,924,500
利益剰余金	36,125,913	35,275,782
自己株式	△6,793,775	△5,342,965
株主資本合計	67,481,988	68,082,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576,518	66,209
為替換算調整勘定	3,878,627	1,939,113
退職給付に係る調整累計額	92,130	95,692
その他の包括利益累計額合計	4,547,275	2,101,014
非支配株主持分	129	121
純資産合計	72,029,392	70,183,802
負債純資産合計	87,442,915	84,482,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	19,882,455	19,101,266
売上原価	16,264,549	15,273,054
売上総利益	3,617,906	3,828,211
販売費及び一般管理費	2,432,504	2,554,117
営業利益	1,185,402	1,274,094
営業外収益		
受取利息	57,324	62,115
受取配当金	99,685	83,763
有価証券売却益	263,584	—
その他	32,925	26,708
営業外収益合計	453,517	172,587
営業外費用		
売上割引	21,472	23,391
開業費償却	—	12,185
為替差損	1,184	93,688
貸倒引当金繰入額	△8,000	—
その他	4,383	1,024
営業外費用合計	19,038	130,288
経常利益	1,619,880	1,316,393
特別利益		
固定資産売却益	3,556	7,819
特別利益合計	3,556	7,819
特別損失		
固定資産売却損	2,745	—
固定資産除却損	25	645
特別損失合計	2,770	645
税金等調整前四半期純利益	1,620,666	1,323,567
法人税等	209,167	236,743
四半期純利益	1,411,499	1,086,823
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,411,505	1,086,825

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,411,499	1,086,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	262,437	△510,309
為替換算調整勘定	△103,033	△1,939,519
退職給付に係る調整額	△9,772	3,562
その他の包括利益合計	149,633	△2,446,266
四半期包括利益	1,561,131	△1,359,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,561,150	△1,359,435
非支配株主に係る四半期包括利益	△18	△8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会において、自己株式を消却することを決議し、平成28年5月27日に自己株式1,000,000株の消却を実施いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,450,870千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,124,899	6,832,583	6,924,973	19,882,455
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,651	29,482	—	77,133
計	6,172,550	6,862,066	6,924,973	19,959,588
セグメント利益	747,768	351,477	314,996	1,414,242

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,414,242
セグメント間取引消去	△948
全社費用(注)	△227,892
四半期連結損益計算書の営業利益	1,185,402

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,007,746	6,672,959	6,420,560	19,101,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,472	33,022	7,049	67,542
計	6,035,219	6,705,980	6,427,609	19,168,808
セグメント利益	745,091	443,555	329,467	1,518,113

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,518,113
セグメント間取引消去	278
全社費用(注)	△244,297
四半期連結損益計算書の営業利益	1,274,094

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。